

モニタリング結果報告書 (令和5年度)

1. 施設概要

施設名	おだわら諏訪の原公園		
所在地	小田原市久野・府川・飯田岡		
サイトURL	https://www.kanagawaparks.com/suwanohara/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成18年3月)		
指定管理者名	おだわら諏訪の原公園パートナーズ		
指定期間	R4.4.1 ~ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況については、新たに自主事業として仮設ドッグランの開催を行っているが、来園者数は前年度よりも減り、C評価となった。今後は、団体で利用できる大縄などの貸し出し物品を増やすことで団体利用客の招致するなどの対応を検討している。 利用者満足度については、日々のきめ細やかな維持管理を行い、快適な利用空間を提供したことから、S評価となっている。 収支状況については、昨年度に比べ利用者数が減少したことにより自動販売機収入は当初予算に達せず、委託業務の窓床清掃を一部直営で行うなど経費節減に努めていたが、収支比率が97.95%となったため、B評価となった。今後は、自動販売機収入を上げるなど、利用者数増加に取り組んでほしい。 3項目評価はBとなった。利用者数の減については感染症の影響が和らぎ、行動制限がなくなったことによる公園離れである。今後は他施設との連携や継続的なPR活動等により、利用者の獲得に取り組んでほしい。 ＜各項目の詳細説明＞ ◆管理運営等の状況 提案に基づいて植物管理や施設の清掃を行った。行動制限が解除され、イベント・プログラムの多くを開催でき、安全で快適な利用空間の提供に努め取り組みを実施した。 ◆利用状況 パンフレット・イベントチラシ等による情報発信に積極的に取り組んでいたが、利用者数は目標達成率70.9%となり、C評価となった。 ◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が94.3%となり、昨年度の98.3%と同様に高い評価が得られ、S評価となった。 ◆収支状況 自動販売機収入等は昨年度より増加しているものの、総収入は当初予算に対し、未達となっている。計画的な取り組みを行っていたが収支差額はマイナスになっている。 ◆苦情・要望等 苦情、要望について適切に対応しており良好な運営管理状況にある。 ◆事故・不祥事等 事故・不祥事等について適切に対応しており良好な運営管理状況にある。 ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 ◆その他 令和5年度の3項目評価についてはB評価とした。近隣施設などとの連携を進め、更なる利用者の獲得と高い利用者満足度の維持に取り組んでほしい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。
B	C	S	B	S: 極めて良好 A: 良好 B: 一部改善が必要 C: 抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	月2回程度	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	管理・運営に関する情報交換を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
四季の花のみどころづくり	園内各所に、ナノハナ、コスモス、皇帝ダリア、スイセン、クロッカスなどの植栽を継続し大規模花畑を創出し、花の見どころを作成した。	四季折々の花が楽しめる場所として、公園の目玉になるよう努めてほしい。
豊かな自然に触れ合う「環境学習イベント・プログラム」の実施	生物多様性を意識した維持管理のもと、年10件の環境学習イベントを実施した。	今後も安全・快適なレクリエーション空間等を提供し、公園内の豊かな自然資源を保全・活用できるように努めてほしい。
誰もが安全・安心に利用できる公園づくり	小田原消防署への通報訓練を含む防災訓練を年2回実施し、小田原フラワーガーデンと合同の防災体験イベントを小田原警察署などの協力で実施した。	引き続き、周辺の企業等と連携を組み、多様な広報活動を実施することにより、安全を保ちながら多くの人が集まる公園になるように努めてほしい。
衛生面での安全確保	感染症予防のため、消毒を実施し、併せて手洗い励行などのポスター掲示など注意喚起・啓発を行った。 また、園内に感染症予防の注意看板等を設置した。	清掃管理は利用者から評判が良い。今後も感染症対策を中心に、利用者に快適性を感じてもらえる公園になるように努めてほしい。
ボランティア団体等の育成・連携、協働の取り組み内容	みかんの会の説明会と体験会を開催したが、フラワーガーデン友の会との連携は、感染症拡大防止のため中止とした。	中止としたフラワーガーデン友の会との連携を行うなど、公園と地域の協働の機会の提供に努めてほしい。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	冬場の12月、1月の利用はなかったが、ほとんどの月で利用されていた。
キッチンカーの運営	天候により売上げが左右されたが、イベント開催時には多くの方が利用していた。
ドッグランの運営	仮設ドッグランを設置し、5月から3月まで毎月9日間実施した結果、計737頭、1,119人が利用した。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
C	

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	168,787	136,560	123,315
対前年度比		80.9%	90.3%
目標値	150,000	165,000	174,000
目標達成率	112.5%	82.8%	70.9%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 目視による計測と団体利用者数からの推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 281 / 283 = 99.3%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	217	48	15	1	0	281	運動ができて、季節の 工作も作れてありがたいです。
回答率	77.2%	17.1%	5.3%	0.4%	0.0%		
前年度の 回答数	200	38	3	1	0	242	
前年度回答率	82.6%	15.7%	1.2%	0.4%			
回答率の 対前年度比	93.4%	108.8%	430.6%	86.1%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

上半期の満足度調査回答数：N=132（大変満足105、満足21、普通5）満足以上95.4%

下半期の満足度調査回答数：N=149（大変満足112、満足27、普通10）満足以上93.2%

上半期下半期とも、パークセンターを中心に指定管理者が来園者からのアンケート回収に努めた。

満足度については前年度より高い評価を得られなかったが、多くの皆様に高い評価をいただいた。

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	68,284	0	1,030	自販機：1,030	69,314	69,314	0	
	決算	68,284	0	2,698	自販機：2,698	70,982	70,040	942	101.34%
前年度	当初予算	59,300	0	2,508	自販機：2,508	61,808	61,808	0	
	決算	59,300	0	2,563	自販機：2,563	61,863	62,762	-899	98.57%
令和5年度	当初予算	59,300	0	6,714	自販機：6,714	66,014	66,014	0	
	決算	59,520	0	2,881	自販機：2,881	62,401	63,707	-1,306	97.95%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和5年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

キャッシュレス決裁に係る費用として、220千円を追加で予算に組み込んだ。

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	大型バス駐車場	1 件	「大型バス駐車場でテニスをしている公園利用者があり、危ないのでテニスの練習をやめさせるように。」という意見をいただいた。	園内でのテニスの練習を全面的に禁止した。
	園路	1 件	「園路や園路脇の柵に雑草が繁茂し、通行ができず、美観上みっともない。」という意見をいただいた。	日々優先箇所を見定めながら除草を行うよう徹底する。
	掲示物	1 件	「掲示物にラミネートフィルムを多用しているが、環境に配慮すべき。」という意見をいただいた。	ラミネートによる屋内掲示は原則廃止し、屋外掲示物は、できる限り廃止していく。
職員対応		件 件		
事業内容	ラジオ体操の報酬	1 件	「8時半、14時、16時に園内放送でラジオ体操を行っており、14時、16時の参加者に収穫物配布しているが、8時半の回に配布がないのは不公平。」という意見をいただいた。	ラジオ体操冒頭で参加を呼びかけ、体操終了後にほかの回と同様に収穫物の配布を行う。
その他		件 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☐ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R6. 2. 2	①来園者がパークセンターに来られ、「展望広場の展望台のフェンス外側についている山名の明示板が曲がっている」と通報があった。 ②発生当日にメールで確認。看板を撤去するよう指示。 ③再発防止策として、看板ではない形で山名の明示ができるよう検討中。 ④なし ⑤看板の撤去については指定管理者の直営。 ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したもので、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。